

創刊のことば

日本に於ける佛教学が、最近半世紀の間に飛躍的な進歩を遂げて、今や世界の学界に重きをなすに至っていることは周知の通りである。その間諸大学の学者の努力に俟つ所最も多かつたのは当然で、わが大谷大学の諸先輩もその中に伍して常に学問の進展と歩調を合せてきた。今われらは、その光榮ある伝統に想いを寄せつつ将来におけるわが国佛教学の歩みを考える時、伝統はその上に安住すべきでなく、不断の努力を以て守り育てねばならぬことを痛感する。

ここにおいて機運の漸く熟した今、われら学徒が業績を世に問う新しい機関誌が発刊されることとなった。題して「佛教学セミナー」という。これは学内の佛教学会を中心として運営され、研究集会の延長といった形のものである。いわば大空に飛び立つ前の羽ばたきにも似て、完成された大作を目ざすものではない。むしろそのための心がまへを整えようとして、互に相たずさえて切磋琢磨することを目標としている。

呱呱の声を上げたばかりのこの小冊子。幸に先学の厳しい指導と同学の愛情ある理解とを得て、力強く巢立ち得るように成長することを念じて止まない。われわれは、常に若さと情熱とを失わず、識者諸賢の激励にこたえていきたい覚悟である。

昭和四十年四月八日

大谷大学 佛教学会